

平成 21 年度事業報告及び歳入歳出決算報告

1 事務局関係

ア 平成 21 年度通常総会を下記のとおり開催した

日時 平成 21 年 4 月 18 日（土） 9：00～12：00

場所 さいたま市大宮ソニックシティ 市民ホール

イ 理事会を下記のとおり開催した

回	開催日時	場所	議事内容
1	H21 年 4 月 18 日(土) 12：30～13：00 出席者 14 名 杉山、齊藤、堀口、太田、若林、遠藤、千賀、金子、海津、大塚、榊原、平野、加藤、入田 委任者 0 名 欠席者 1 名 小林 監事 2 名 平山、松本	さいたま市大宮ソニックシティ	1.三役・常務理事 互選 2.事務連絡
2	H21 年 5 月 12 日(火) 13：30～17：00 出席者 12 名 杉山、齊藤、堀口、若林、遠藤、千賀、海津、大塚、榊原、平野、加藤、入田 委任者 3 名 太田、金子、小林 欠席者 0 名 監事 1 名 松本	協会事務所	1.総会・学会総括 2.各ブロック報告 3.各部局事業計画について 事務局：各団体からの依頼について 各種届出・事務手続きについて 総務部：会員状況について ブロック助成金について MSW さいたまについて ブロック責任者・幹事選出について 研修部：新人研修・中堅研修会について 社活部：平成 21 年度活動プログラムについて 医療福祉相談会について 財務部：会費納入状況について 会費請求について 8 条退会者について 会費未納者について 財務状況について
3	H21 年 6 月 30 日(水) 13：30～15：00 出席者 14 名 杉山、齊藤、堀口、若林、遠藤、千賀、金子、海津、大塚、榊原、小林、平野、加藤、入田 委任者 1 名 太田 欠席者 0 名 監事 1 名 平山	協会事務所	1.各部局事業について 事務局：各団体からの依頼について 総務部：ブロック活動報告 会員状況について 幹事選出、部局分担について MSW さいたまについて 研修部：新人研修・中堅研修会について 社活部：医療福祉相談会について 財務部：ブロック助成金について 2.公益法人立入検査、協会事務所にて実施 3.各部局内事業検討（理事幹事合同役員会） 会場：市民会館おおみや

4	<p>H21年7月29日(水) 13:30~17:00 出席者 10名 杉山、若林、遠藤、千賀、海津、大塚、榊原、 小林、加藤、入田 委任者 3名 齊藤、堀口、 太田 欠席者 2名 金子、平野 監事 1名 松本</p>	協会事務所	<p>1.各部局事業について 事務局：各種届出・事務手続きについて 協会ホームページについて 総務部：ブロック活動報告 会員状況について MSW さいたまについて 所属機関名簿について 平成21年度役員について 研修部：新人研修会について 社活部：医療福祉相談会について 財務部：会費納入状況について ブロック助成金管理について 2.その他：公益法人立入検査について</p>
5	<p>H21年9月16日(水) 13:30~17:00 出席者 10名 杉山、齊藤、遠藤、千賀、海津、大塚、榊原、 小林、加藤、入田 委任者 4名 堀口、太田、 若林、金子、 欠席者 1名 平野 監事 0名</p>	協会事務所	<p>1.各部局事業について 事務局：各種届出・事務手続きについて 事務所員について 総務部：ブロック活動報告 会員状況について MSW さいたまについて 所属機関名簿について 研修部：新人研修会について 学会・全体研修会について 社活部：医療福祉相談会について 財務部：会費納入状況について ブロック助成金管理について</p>
6	<p>H21年10月20日(火) 13:30~17:00 出席者 13名 杉山、齊藤、太田、若林、遠藤、千賀、金子、 海津、大塚、榊原、小林、加藤、入田 委任者 1名 堀口、 欠席者 1名 平野 監事 2名 平山、松本</p>	協会事務所	<p>1.各部局事業について 事務局：各種届出・事務手続きについて 各団体からの依頼について 協会ホームページについて 事務所員について 平成22年度総会・学会について 総務部：ブロック活動報告 会員状況について MSW さいたまについて 所属機関名簿について 研修部：新人研修・中堅研修会について 学会・全体研修会について 社活部：医療福祉相談会について 財務部：財務状況について 債権の放棄について</p>

7	<p>H21年12月1日(火) 13:30~17:00 出席者 10名 杉山、太田、若林、遠藤、千賀、海津、榑原、平野、加藤、入田 委任者 4名 齊藤、金子、大塚、小林 欠席者 1名 堀口 監事 0名</p>	協会事務所	<p>1.各部局事業について 事務局：各種届出・事務手続きについて 各団体からの依頼について 協会事務所について 事務所員について 総務部：ブロック活動報告 会員状況について MSW さいたまについて 所属機関名簿について 研修部：新人研修・中堅研修会について 学会・全体研修会について 社活部：医療福祉相談会について 財務部：会費納入状況について 2. その他：平成22年度通常総会について</p>
8	<p>H22年1月20日(水) 13:30~17:00 出席者 10名 杉山、齊藤、堀口、太田、若林、千賀、海津、大塚、平野、入田 委任者 4名 金子、榑原、小林、加藤 欠席者 1名 遠藤 監事 0名</p>	協会事務所	<p>1.各部局事業について 事務局：各種届出・事務手続きについて 各団体からの依頼について 総務部：ブロック活動報告 会員状況について MSW さいたまについて 所属機関名簿について 研修部：新人研修・中堅研修会について 学会・全体研修会について 社活部：医療福祉相談会について 県内ソーシャルワーカー団体による県への要望書について 財務部：財務状況について 2.その他：新公益法人制度について 平成22年度通常総会について</p>
9	<p>H22年2月17日(水) 13:30~17:00 出席者 15名 杉山、齊藤、堀口、太田、若林、遠藤、千賀、金子、海津、大塚、榑原、小林、平野、加藤、入田 委任者 0名 欠席者 0名 監事 2名 平山、松本</p>	協会事務所	<p>1.各部局事業について 事務局：各団体からの依頼について 事務所員について 総務部：ブロック活動報告 会員状況について MSW さいたまについて 総務部会について 研修部：新人研修・中堅研修会について 学会・全体研修会について 社活部：医療福祉相談会について 県内ソーシャルワーカー団体による県への要望書について 財務部：会費納入状況について 財務状況について 次年度予算について 2.その他：新公益法人制度について 平成22年度通常総会について</p>

10	H22年2月25日(木) 19:00~21:00 出席者 10名 杉山、齊藤、太田、若林、遠藤、千賀、大塚、 小林、加藤、入田 委任者 3名 堀口、金子、 海津 欠席者 2名 榑原、平野 監事 0名	協会事務所	1.各部局事業について 事務局：各種届出・事務手続きについて 事務所員について 総務部：ブロック活動報告 会員状況について MSW さいたまについて 研修部：新人研修・中堅研修会について 学会・全体研修会について 社活部：医療福祉相談会について 財務部：会費納入状況について 財務状況について 次年度予算について 2.その他：新公益法人制度について 平成22年度通常総会について
----	---	-------	--

ウ 下記のとおり他団体との連絡調整を行った

◎ 平成21年6月20日(土)

(社)埼玉県社会福祉士会第4回通常総会・第12回埼玉県社会福祉士学会開会式に
太田事務局長出席

◎ 平成21年6月21日(日)

(社)埼玉県障害難病団体協議会平成21年度定期総会・特別研修会に祝電送付

◎ 平成21年6月28日(日)

第3回NPO 埼腎友総会に祝電送付

◎ 平成21年12月6日(日)

(社)埼玉県理学療法士会第18回埼玉県理学療法学会を後援

◎ 平成22年1月12日(火)

社会福祉関係者新年賀詞交歓会に杉山会長出席

◎ 平成22年1月22日(金)

埼玉県社会福祉協議会 第1回福祉研修委員会に大塚理事出席

エ (社)日本医療社会事業協会との連絡調整を行った

◎ 平成21年5月15日(金)

第3回全国医療ソーシャルワーカー協会会長会会議(山形大会)に杉山会長出席
都道府県協会研修担当者会議(山形大会)に江崎研修部幹事出席

◎ 平成21年12月5日(土)

第4回全国医療ソーシャルワーカー協会会長会会議に杉山会長出席

オ 新公益法人制度に対する準備を行った

◎平成21年7月13日（月）

平成21年度第1回公益法人実務研修会（新公益法人制度・基礎編）に杉山会長、入田理事出席

カ 協会事務所の管理運営を行った

キ ホームページの管理運営を行った

2 総務部関係

ア 会員情報の把握及び会員の拡大に努めた

入会者数 70人

退会者数 32人

現在会員数 533人（1号 533人、2号 6人）

* H22.2.25 理事会 現在

イ ブロック活動

◎ 研修、情報交換等を行った

東部ブロック

責任者：野崎奈緒美（春日部中央総合病院）

日時	開催場所	内容	参加人数
H21年7月17日	春日部市内	交流会	32名
H21年9月12日	埼玉県立大学	研修会「スーパービジョンについて」 講師：杉山明伸氏（埼玉県立大学）	39名
H21年11月20日	越谷市 中央市民会館	研修会「スーパービジョンについて #2」 *SVを必要としている世代によるグループワーク	20名
H22年2月13日	埼玉県立大学	研修会「スーパービジョンについて #3」 講師：杉山明伸氏（埼玉県立大学） 加藤弘衣氏（済生会栗橋病院） 千賀英昭氏（松伏町地域包括支援センター）	20名
	越谷市内	交流会	22名

ブロックニュース発行 平成21年8月、10月、平成22年1月

西部ブロック

責任者：政元夕佳（川越市地域包括支援センターみずほ）

日時	開催場所	内容	参加人数
H21年7月24日	川越西文化会館	ブロック会	45名

H21年11月28日	川越西文化会館	研修会「成年後見制度～ソーシャルワーカーが知っておくべき援助のポイント～」 講師：小川政博氏（あかね社会福祉士事務所）	51名
H22年2月26日	川越駅東口多目的ホール	研修会「誰かを看取るとのこと～一人称、二人称、三人称の視点から考える～」 講師：平野朋美氏（埼玉県立小児医療センター）	名

ブロックニュース発行 平成21年6月、12月、平成22年 月

南部ブロック

責任者：五十嵐一也（のぞみ病院）

日時	開催場所	内容	参加人数
H21年7月24日	JACK大宮	ブロック会	23名
	さいたま市内	交流会	13名
H21年10月29日	大宮ソニックシティ	研修会「1967 かく闘えり～相談業務における私の体験～」 講師：遠山賢二氏（川口市医療センター）	43名
	さいたま市内	交流会	14名
H22年3月日	川口市市民ホール	研修会「」 講師：海津加代子氏（埼玉県総合リハビリテーションセンター）	名
	川口市内	交流会	名

ブロックニュース発行 平成21年6月、9月、12月、平成22年3月

北部ブロック

責任者：田中孝治（深谷赤十字病院）

日時	開催場所	内容	参加人数
H21年10月22日	熊谷文化創造館さくらめいと	研修会「生活保護について改めて考える」 講師：石鍋幹男氏（埼玉県福祉部社会福祉課）	29名
H22年3月8日	熊谷文化創造館さくらめいと	「事例検討会」	名

ブロックニュース発行 平成21年11月、平成22年 月

- ◎ 幹事の選出を行った
- ◎ 協会内各実行委員会の実行委員候補の選出を行った

ウ 機関紙「MSWさいたま」を発行した

- ◎ 第86号 H21.10.19
- ◎ 第87号 H22.2.20

エ 所属機関名簿の作成準備作業を行った

3 研修部関係

ア 新人研修会

日 時 平成 21 年 7 月 11 日 (土) 14:30~18:00
平成 21 年 8 月 8 日 (土) 14:30~17:30
平成 21 年 10 月 17 日 (土) 14:30~17:30
平成 21 年 11 月 14 日 (土) 14:30~17:30
平成 21 年 12 月 5 日 (土) 14:30~18:00

場 所 埼玉県労働会館

内 容 【総論】

第 1 回 SW の機能と役割

講師 杉山明伸氏 (埼玉県立大学)

協会紹介・ブロック別自己紹介

第 2 回 変化の時代と SW I

講師 野田妙子氏 (リハビリテーション天草病院)

【各論】

第 1 回 変化の時代と SW II

講師 野田妙子氏 (リハビリテーション天草病院)

★後半 事例を通してのグループワーク

第 2 回 社会資源と地域連携

講師 伊藤良美氏・神典子 (八潮中央総合病院)

植松千恵氏 (大宮共立病院)

柴田賢氏 (霞ヶ関南病院)

★後半 事例を通してのグループワーク

第 3 回 面接技術

講師 角三美穂氏 (介護老人保健施設きんもくせい)

★後半 事例を通してのグループワーク

参加者 総論 40 名、各論 35 名 (修了認定者 34 名)

イ 中堅研修会

特定非営利活動法人 埼玉県介護支援専門員協会、さいたま市介護支援専門員協会
に参加依頼した

日 時 平成 22 年 3 月 20 日 (土) 14:00~16:00

場 所 さいたま市大宮ソニックシティ 会議室 906 号

講 師 奥川幸子氏 (対人援助職トレーナー・日本社会事業大学客員教授)

テーマ 「地域と医療を結ぶケース (ケア) マネジメントとは

～中堅者に必要なアセスメント技術～

参加者 名

ウ 全体研修会

日 時 平成 22 年 4 月 17 日 (土)

場 所 さいたま市大宮ソニックシティ市民ホール

講 師 藤田孝典氏（特定非営利法人 ほっとポット代表理事）

豎十萌子氏（埼玉中央法律事務所 弁護士）

テーマ 「貧困とソーシャルワーク」～保健・医療・福祉のつながりの中で～

エ 社団法人 埼玉県医療社会事業協会学会

日 時 平成 22 年 4 月 17 日（土）

場 所 さいたま市大宮ソニックシティ市民ホール

講 評 浅山倫子氏（東京臨海病院 医療福祉事業課 課長）

オ ブロック研修活動への支援

カ 自主的な研修活動への支援

今年度調査研究補助金該当者なし

4 社会活動部関係

ア 医療福祉相談事業

埼玉県社会福祉士会との共催で医療福祉相談会を実施した

* 第 25・26 回医療福祉相談会

1) 日 時 平成 21 年 11 月 15 日（日）11:00～16:30

平成 21 年 12 月 6 日（日）11:00～16:30

方 法 面接相談会場（川越市生活情報センター）

電話相談会場（協会事務所）

相談員 24 人（埼玉県社会福祉士会会員 5 名含む）

相談件数 会場 7 件 電話 1 件 計 8 件

<相談状況>

相談会場	相談者	相談員数	
面接相談会場	7 名	協会員	13 名
		社会福祉士会	5 名
電話相談会場	1 名	協会員	6 名
		社会福祉士会	0 名
合 計	8 名	協会員	19 名
		社会福祉士会	5 名

<相談内容詳細>

	件数（延べ）	
	面接	電話
社会復帰に関する心配がある・就労に関する情報が欲しい	0 件	0 件
入院や治療に対しての不安や迷いを持っている	2 件	0 件
家族関係やその他の人間関係について相談したい	0 件	1 件
治療費や生活費などに心配がある	5 件	0 件

医療機関・福祉施設サービスについて知りたい	3件	1件
退院先が決まっていない・退院に不安を持っている	0件	0件
介護保険に関する相談	0件	0件
各種制度の紹介（障害者手帳、成年後見制度、特定疾患等）	1件	0件

<来場者アンケート（来談者7名より）>

項目	回答
相談会は役に立ちましたか？	大変役に立った：4名 一部役に立った：2名
交通	便利だった：7名
相談しやすい環境	相談しやすかった：7名
お渡しした資料	参考になった：2名
医療 SW、社会福祉士を知っていたか	知っていた：4名 知らなかった：3名
医療福祉相談会を知っていたか	知っていた：3名 知らなかった：4名
開催回数	年2回程度：3名、年1回程度：3名

- イ 埼玉県社会福祉士会とともに、埼玉県重度心身障害者医療費助成制度の対象者に精神障害者を加える要望書の検討を行った

5 財務部関係

- ア 会費納入率の向上に努めた
- イ 適正な予算の執行に努めた
- ウ 財務事務処理の効率化に努めた

財 産 目 録

平成22年3月31日現在

単位：円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
埼玉りそな銀行県庁支店 普通預金	1,605,048		
未収金(年会費)	1,155,000		
流動資産合計		2,760,048	
2 固定資産			
(1)基本財産			
郵便局 定額貯金(基本財産)	2,581,589		
(2)特定資産			
埼玉りそな銀行大宮支店 普通預金	601,586		
固定資産合計		3,183,175	
資産合計			5,943,223
II 負債の部			
1 流動負債		0	
2 固定負債		0	
負債合計			0
正味財産			5,943,223

平成 22 年度事業計画及び歳入歳出予算

1 基本方針

リーマンショック以来の経済危機とこれまでの度重なる社会保障の削減により、貧困と格差が深刻化するなか、政治の場面では昨年 8 月衆議院議員総選挙の結果、政権交代が行われました。それは国民が日本の政治、経済、生活面における変化・変革を強く求めた結果でもありました。

生活保護の母子加算の復活や肝炎対策基本法の成立、また、障害者自立支援法の違憲訴訟では、国との和解が成立し、応益負担の廃止と新法の制定が約束されました。

そして、診療報酬の改定では、内容に課題を残したものの 0.19%の増加となり、これまで続いた医療費抑制政策は、少し緩和されました。

これらは、「いのちを大事にする」方向に世の中が変わってきたようにも思われます。

しかし、一方では、生活保護の老齢加算の復活や後期高齢者医療制度の問題、年々増加する介護心中・介護殺人の背景にある問題など、高齢者への支援は未だ不十分な状況といえます。また、大企業が主導した非正規雇用の労働者を「調整弁」とする解雇、雇い止めなどの影響もあって平成 21 年平均の完全失業率は 5.1%に達し、平成 15 年 5.3%以来の 5%台を記録しました。国民健康保険料の滞納は 445 万 4 千世帯となり、2 年連続加入世帯の 2 割を超え、「自殺者年間 3 万人以上」の数字は 12 年連続となっています。

このような状況のなか、私たちソーシャルワーカーは、仕事を通じこれらの貧困の問題をはじめとする生活問題などと対峙しなければなりません。

国際ソーシャルワーカー連盟の定義である「人間の福利の増進を目指して社会の変革を進め、人間関係における問題解決を図り、人びとのエンパワメントと開放を促していく」という原点に立ち、実践に向けていくことが求められています。

そして、「公益法人改革」に対しては、昨年度に引き続き検討し取るべき方向を定めていきます。

これらのことを踏まえ、今年度も資質向上のための研修活動や公益性を発揮した社会活動を中心に諸活動を展開していきます。

2 事務局関係

ア 総会を開催する

イ 理事会を開催する

ウ 公益法人改革に関して準備、検討を行う

エ 他団体との連絡調整を行う

- ① 社団法人日本医療社会事業協会との連絡調整
- ② その他、関係団体との連絡調整

オ 事務所の管理運営を行う

カ ホームページの管理運営を行う

キ その他、必要な活動を行う

3 総務部関係

ア 会員情報の把握及び会員の拡大を行う

イ 理事・監事の選出を行う

ウ ブロック活動を実施する

- ① 研修会・情報交換会等の実施
- ② 幹事の選出
- ③ 協会内各実行委員会の実行委員の選出
- ④ その他

エ 機関紙「MSWさいたま」を発行する

オ 所属機関名簿を発行する

カ その他必要な活動を行う

4 研修部関係

ア 新人研修会を開催する

- ・ 主に経験3年未満の会員を対象に実施する
- ・ 保健医療の現場における社会福祉分野の専門職として最低限の知識・技術を身につける場であるため、新規採用者の受講が望ましい

イ 中堅研修会を開催する

ウ 全体研修会を開催する

エ 学会を開催する

オ ブロック活動を支援する

カ 自主的な研修活動への支援、育成を行う

キ (社)日本医療社会事業協会、厚生労働省等が開催する関係領域についての研修会の紹介及び協力を行う

ケ その他、必要な活動を行う

5 社会活動部

ア 医療福祉相談会を行う

イ 医療福祉相談会等、社会活動の広報を全市町村及び、各病院・診療所・社会福祉職能団体・社会福祉教育機関に行い、啓発をする

ウ その他、必要な活動を検討し、行う

6 財務部関係

ア 会費納入率の向上に努める

イ 適正な予算の執行に努める

ウ 財務事務処理の効率化に努める

平成22年度歳入歳出予算

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

単位:円

1 収入の部					
大科目	中科目	前年予算額	予算額	差異	備考
会費収入		4,669,000	4,662,000	▲ 7,000	会費7,000
	1号会員収入	3,710,000	3,710,000	0	530名
	2号会員収入	49,000	42,000	▲ 7,000	6名
	過年度収入	910,000	910,000	0	130口
補助金収入		0	0	0	
	補助金収入	0	0	0	
その他の収入		180,000	130,000	▲ 50,000	
	研修会参加費	150,000	100,000	▲ 50,000	新人研修会参加費等
	相談会協賛費	30,000	30,000	0	
	ブロック助成金返還	0	0	0	
雑収入		2,500	800	▲ 1,700	
	利子等	2,500	800	▲ 1,700	
	雑収入	0	0	0	
仮払い精算		0	0	0	
当期収入合計(A)		4,851,500	4,792,800	▲ 58,700	
前期繰越収支差額		1,462,019	1,605,048	143,029	
60周年準備金の一般会計繰入		0	100,412	100,412	
収入合計(B)		6,313,519	6,397,848	84,329	
2 支出の部					
大科目	中科目	前年予算額	予算額	差異	備考
事業費		4,043,800	4,181,000	137,200	
	会議会場費	300,000	375,000	75,000	
	旅費交通費	205,000	260,000	55,000	
	通信運搬費	1,137,800	940,000	▲ 197,800	
	印刷製本費	1,060,000	1,180,000	120,000	
	消耗品費	45,000	60,000	15,000	
	備品	0	20,000	20,000	
	謝金	300,000	300,000	0	
	助成金	640,000	740,000	100,000	
	人件費	260,000	200,000	▲ 60,000	
	会費	21,000	21,000	0	
	渉外費	50,000	60,000	10,000	
	雑費	25,000	25,000	0	
管理費		2,235,000	2,160,000	▲ 75,000	
	賃借料等	1,350,000	1,350,000	0	
	水道・光熱費	230,000	260,000	30,000	
	会議会場費	45,000	50,000	5,000	
	旅費交通費	155,000	160,000	5,000	
	通信運搬費	80,000	85,000	5,000	
	印刷製本費	15,000	10,000	▲ 5,000	
	消耗品費	30,000	35,000	5,000	
	備品	20,000	90,000	70,000	
	人件費	0	60,000	60,000	
雑費	310,000	60,000	▲ 250,000	保険料・司法書士委託料	
予備費		34,719	56,848	22,129	
	予備費	34,719	56,848	22,129	
	積立金	0	0	0	
仮払い	仮払い	0	0	0	
当期支出合計(C)		6,313,519	6,397,848	84,329	
当期収支差額		▲ 1,462,019	▲ 1,605,048	▲ 143,029	
次期繰越収支差額		0	0	0	

注1: 当期収支差額=(A)-(C) 次期繰越収支差額=(B)-(C)

注2: この決算書は、「公益法人会計基準」をもとに作成してあります。

* 基本財産 2,581,589円

* 専属職員準備 500,000円

平成 21 年度 役員等一覧表 (参考資料)

* 所属については H21.4 の所属機関名称で記載

◎監事

平山 雅康 (自宅会員)
松本喜恵子 (鴻巣地域包括支援センターこうのとり)

◎理事

会長 杉山 明伸 (埼玉県立大学)
副会長 斎藤恵美子 (厚生連熊谷総合病院)
副会長 堀口 泰正 (介護老人保健施設やまざくら)
事務局長 太田由紀子 (さいたま市民医療センター)
事務局 遠藤 智子 (至聖病院)
事務局 若林 政典 (埼玉よりい病院)
総務部長 千賀 英昭 (松伏町地域包括支援センター)
総務部 金子 千景 (慶和病院)
研修部長 海津加代子 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)
研修部 大塚 智秋 (自治医科大学附属さいたま医療センター)
研修部 榊原 次郎 (霞ヶ関南病院)
社活部長 小林 明弘 (毛呂病院)
社活部 平野和香子 (ケアプランたんぽぽ)
財務部長 加藤 弘衣 (済生会栗橋病院)
財務部 入田 千代 (春日部市立病院)

◎幹事

事務局 城澤 恵 (居宅介護支援事業所太郎)
事務局 西 綾子 (指扇療養病院)
総務部 野崎奈緒美 (春日部中央総合病院)
総務部 政元 夕佳 (川越市地域包括支援センターみずほ)
総務部 五十嵐一也 (のぞみ病院)
総務部 田中 孝治 (深谷赤十字病院)
総務部 保泉こず恵 (介護老人保健施設ブルミエール)
研修部 江崎 海音 (リハビリテーション天草病院)
研修部 角三 美穂 (介護老人保健施設きんもくせい)
社活部 近内 晴美 (笠幡病院)
社活部 吉澤 宏治 (毛呂病院)
社活部 林 聖純 (埼玉医科大学病院)
社活部 宮田 賢次 (武蔵嵐山病院)
財務部 吉越 千昭 (埼玉社会保険病院)
財務部 小池 亜希 (西部武総合病院)

◎所属機関名簿作成協力員

協力員 橋村 健司 (富家病院)